

# 外郭団体経営報告書 (令和2年度版)

茅ヶ崎市企画部行政改革推進室

# 外郭団体経営報告書（令和2年度版）

## 目次

外郭団体経営報告書について	1
外郭団体経営報告書の見方	2
市が100%出資している団体	
I 公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団	4
II 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団	15
市が財政的支援等を行っている団体	
III 公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター	23
IV 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会	31

## 外郭団体経営報告書について

本市では、市が直接事業を実施するよりも外部組織に委ねた方がより効率的・効果的である等の理由から外郭団体（※）を設置してきました。外郭団体は、行政サービスを補完・支援するだけでなく、社会福祉事業や文化振興の推進、高齢者の就業機会の創出等、行政サービスの充実・拡充の役割を果たしてきました。

しかし、指定管理者制度の導入及び進展をはじめとする公共サービスにおける民間委託化の範囲の拡大等により、外郭団体の設置目的であった事業自体に民間事業者等が参入するケースが出てきており、外郭団体は公益に果たす自らの役割及び存在意義を再認識し、効率的かつ効果的な行政サービスの提供に努めるよう、より一層の改革に取り組むことが求められています。

本市においては、平成 24 年 2 月に「公民連携推進のための基本的な考え方」を策定し、民間団体、民間事業者、行政の役割分担を最適化し、相互の関係性を変化させていくことを通じて効率的で効果的な行政運営を実現することを理念として掲げました。

また、本市が外郭団体に期待する役割や改善の方針を明らかにするため、平成 19 年 8 月に「外郭団体見直し基本方針」を策定し、適切な関与を実施しました。また、平成 25 年 3 月には「外郭団体見直し基本方針（改訂版）」を策定し、外郭団体の存廃等の方向性を明確にするとともに、その自立に向け、より一層の効率的・効果的な経営体制を確立するための取組を行い、平成 29 年 2 月には「時代に即した行政経営の基本方針 2017（C3 成長加速化方針）」を策定し、外郭団体への支援策等の見直しを行ってきました。

「外郭団体経営報告書（令和元年度版）」は、外郭団体の経営に係る透明性の確保と、C3 成長加速化方針に位置付けた「外郭団体への支援策等に関する見直し」を進めるために、各外郭団体の令和元年度の組織の運営状況や事業の活動状況についてとりまとめたものです。

※外郭団体（「外郭団体見直し基本方針（改訂版）」における見直し対象団体を本報告書の対象とした）

### 1 市が100%出資している団体

- ・公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
- ・社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

### 2 市が財政的支援等を行っている団体

- ・公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター
- ・社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会

## 外郭団体経営報告書の見方

### 1 団体について

#### (1) 概要

年度末現在の各外郭団体の設立年月日、設立目的、事業概要等、団体の基礎情報を掲載しています。担当部課については、本市における外郭団体の所管課を表しています。

#### (2) 指定管理者として管理する公の施設

各外郭団体が指定管理者として管理する本市の公の施設名と指定管理期間、指定管理期間中の債務負担合計額を記載しています。

#### (3) 人員等の状況

年度末現在の役員（監事を含む、評議員は除く）及び職員の人数について、常勤・非常勤の別に記載しています。また、役員及び職員の人数内訳や平均年齢も記載しています。

※ 常勤は任期に定めのない役職の職員とし、それ以外のは非常勤としています。

※ 役員と職員を兼務している場合は、役員数に計上しています。

#### (4) 人件費等の状況（役員）

年度末現在の役員の報酬対象人数、報酬総額及び平均報酬について、常勤・非常勤の別に記載しています。

#### (5) 人件費等の状況（職員）

年度末現在の職員の給与及び平均給与について、常勤・非常勤の別に記載しています。

※一般給料表の額と職員手当【扶養手当、期末手当、通勤手当、時間外勤務手当等】の合算額としています。

### 2 財務について

#### (1) 財務諸表

当該年度の各団体の財務諸表を掲載しています。掲載している指標の内容は以下のとおりです。

項目	財団・社団法人	社会福祉法人
総収入	正味財産増減計算書の収益の合計値	事業活動収支計算書（事業活動計算書）の収入の合計値
総支出	正味財産増減計算書の費用の合計値	事業活動収支計算書（事業活動計算書）の費用の合計値
当期収支	総収入と総支出の差額	
資産合計	貸借対照表の資産の部合計値	
負債合計	貸借対照表の負債の部合計値	
正味財産合計	貸借対照表の正味財産の部（社会福祉法人は純資産の部）合計値	
当期正味財産等増減額	正味財産増減計算書の当期正味財産等増減額	事業活動収支計算書（事業活動計算書）の当期活動収支差額

(2) 総収入に占める市の財政支出状況等

当該年度の市から各外郭団体に対する各支出額を掲載しています。

※表中括弧書きは総収入に占める割合を表しています。

(3) 経営評価指標

外郭団体の財務状況を表す指標として、自立性、安全性及び効率性の観点から、計7項目を設定しており、当該年度の結果を記載しています。

各指標の概要は以下のとおりです。

指標名称	計算式	内容
補助金依存率	$(\text{市補助金収入} / \text{経常収益}) \times 100$	収入に占める補助金の割合から、補助金依存度を評価し、前年度比減が望ましい。
受託事業収入率	$(\text{市受託事業収入} / \text{経常収益}) \times 100$	収入に占める受託事業収入の割合から、受託事業への依存度を評価し、前年度比増が望ましい。
自主事業費比率	$(\text{自主事業費} / \text{事業費}) \times 100$	事業費に占める自主事業費の割合から、自主事業への取組状況を評価し、前年度比増が望ましい。
自己資本比率	$(\text{自己資本} / \text{資産合計}) \times 100$	資産合計に占める正味財産の割合から、団体運営の安全性を評価し、一般的には50%以上であることが望ましい。
流動比率	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の比率から、団体の支払い能力を評価し、一般的には200%以上であることが望ましい。
人件費比率	$(\text{人件費} / \text{経常収益}) \times 100$	収入に対する人件費（役員、職員にかかる給料、手当、福利厚生費など）の割合から団体運営の効率性・弾力性を評価し、前年度比減が望ましい。
管理費比率	$(\text{管理費} / \text{経常支出}) \times 100$	支出に占める管理費の割合から、団体運営の効率性を評価し、前年度比減が望ましい。

※ 経常収益・経常支出：社会福祉法人は、事業活動収支計算書（事業活動計算書）の事業活動収入計（サービス活動収益計）・事業活動支出計（サービス活動費用計）に読み替える。

※ 管理費：社会福祉法人は、本部・事務局運営に係る経常支出に読み替える。

3 主要な事業について

上段では、外郭団体が実施した主要な事業の概要と活動状況を記載しています。

下段では、当該年度の取組結果及び課題と翌年度以降の今後の方向性を記載しています。

4 総合評価

各外郭団体の当該年度の「財務」「事業」のそれぞれにおける外郭団体の自己評価と各所管課の評価、また全体を通じた市総評を記載しています。

# I 公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

## 1 団体について

### (1) 概要

(令和2年3月31日現在)

名称	公益財団法人 茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団	担当部課	文化生涯学習部文化生涯学習課 文化生涯学習部スポーツ推進課 教育推進部社会教育課		
所在地	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目11番1号				
設立年月日	平成8年4月1日	基本財産	3億円	市出資率	100%
設立目的	文化芸術活動やスポーツ活動の振興を図るための事業を行い、茅ヶ崎市民が心豊かで潤いのある市民生活を送り、健やかで活力ある地域の形成と発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	(1) 芸術文化の振興を目的とする事業 (2) スポーツによる健康増進及びスポーツの振興を目的とする事業 (3) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業				
情報公開	HPアドレス	<a href="http://www.chigasaki-arts.jp/">http://www.chigasaki-arts.jp/</a>			
	公開情報	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 評議員・役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 経営計画等			

### (2) 指定管理者として管理する公の施設

(単位：千円)

施設名	指定管理期間	債務負担合計額 (4年間)
① 茅ヶ崎市営体育施設	H28. 4. 1～R2. 3. 31 (4年間)	280,000
② 茅ヶ崎市総合体育館 茅ヶ崎市体育館	H28. 4. 1～R2. 3. 31 (4年間)	460,000
③ 茅ヶ崎市民文化会館	H31. 4. 1～R5. 3. 31 (4年間)	858,000
④ 茅ヶ崎市美術館	H28. 4. 1～R2. 3. 31 (4年間)	286,623
⑤ 茅ヶ崎市茶室・書院 (松籟庵)	H28. 4. 1～R2. 3. 31 (4年間)	23,298
⑥ 柳島しおさい公園	H28. 2. 1～R2. 3. 31 (4年間)	128,000

(3) 人員等の状況

(令和2年3月31日現在)

			平成30年度	令和元年度	増減	
役員	常勤	役員数 (人)	1	1	0	
		うち市OB (人)	1	1	0	
		平均年齢 (歳)	74	63	△ 11	
	非常勤	役員数 (人)	12	12	0	
		うち市OB (人)	0	0	0	
		平均年齢 (歳)	71	72	1	
合計 (人)			13	13	0	
職員	常勤	職員数 (人)	25	24	△ 1	
		うち市OB (人)	3	2	△ 1	
		平均年齢 (歳)	50	47	△ 3	
	非常勤	職員数 (人)	81	78	△ 3	
		うち市OB (人)	1	1	0	
		平均年齢 (歳)	53	57	4	
	合計 (人)			106	102	△ 4

(4) 人件費等の状況 (役員)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	役員のうち常勤役員報酬対象者 (人)	1	1	0
	役員報酬 (千円)	4,241	2,041	△ 2,200
	役員平均報酬 (千円)	4,241	2,041	△ 2,200
非常勤	役員のうち非常勤役員報酬対象者 (人)	12	12	0
	役員報酬 (千円)	420	580	160
	役員平均報酬 (千円)	35	48	13

※ 令和元年度中にこれまでの常勤役員（専務理事）が退任し、後任として事務局長が専務理事を兼務することになった。前任の常勤役員（専務理事）に対しては役員報酬（令和元年度は、退任までの2,041千円）を支払った。後任の常勤役員については、事務局長を兼務しているため事務職員として給与を支払っている（常勤役員報酬ではなく、(5)常勤職員給与に含んでいる。）。

(5) 人件費等の状況 (職員)

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	職員給与	135,903	130,204	△ 5,699
	職員平均給与	5,436	5,425	△ 11
非常勤	職員給与	95,697	97,375	1,678
	職員平均給与	1,181	1,248	67

## 2 財務について

※ 市民文化会館は、平成30年10月1日にリニューアルオープンしました。（半年間休館）

### (1) 財務諸表

(単位：千円)

財務諸表	平成30年度	令和元年度	増減
総収入	679,819	690,502	10,683
総支出	674,603	699,652	25,049
当期収支	5,217	-9,149	△ 14,366
資産合計	599,622	568,926	△ 30,696
負債合計	95,456	73,910	△ 21,546
正味財産合計	504,166	495,017	△ 9,149
当期正味財産等増減額	5,217	-9,149	△ 14,366

### (2) 総収入に占める市の財政支出状況等

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減	
総収入に占める市の財政支出額	内訳	補助金	12,209 ( 1.8%)	12,209 ( 1.8%)	0
		負担金	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
		委託料	24,252 ( 3.6%)	24,316 ( 3.5%)	64
		指定管理料	459,655 ( 67.6%)	490,284 ( 71.0%)	30,629
		その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
	小 計		496,116 ( 73.0%)	526,809 ( 76.3%)	30,693
その他収入		183,703 ( 27.0%)	163,693 ( 23.7%)	△ 20,010	
合 計 (総収入)		679,819 (100.0%)	690,502 (100.0%)	10,683	

※金額の括弧書きは総収入に占める割合

### (3) 経営評価指標

(単位：%)

経営評価指標		平成30年度	令和元年度	増減
自立性	補助金依存率	1.8	1.8	0.0
	受託事業収入率	3.6	3.5	△ 0.1
	自主事業費比率	15.5	8.8	△ 6.7
安全性	自己資本比率	84.1	87.0	2.9
	流動比率	437.3	557.5	120.2
効率性	人件費比率	39.1	37.9	△ 1.2
	管理費比率	13.7	4.0	△ 9.7

### 3 主要な事業について

(1) 事業名：文化会館事業					
事業概要	活動状況（単位）				
	項目	平成30年度	令和元年度	増減	
	<p>市民の自主的で創造的な文化芸術活動を支援し、併せて文化芸術を通じた人材育成を行うため、さまざまなワークショップ、市民参加事業、アウトリーチ事業等を行うとともに、幅広いジャンルから、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供した。また、利用者、来館者が安心して茅ヶ崎市市民文化会館をご利用いただけるよう、施設の管理及び貸出業務を行った。</p>	貸出施設利用率（%）	63	61	△ 2
		自主事業実施数（件）	46	40	△ 6
取組結果	課題・今後の方向性				
<p>市民文化創造育成事業では、「第九」の公募合唱団、市民バレエフェスティバルの出演、プロのバレエ公演への子役出演など、例年より多くの市民に参加してもらうことができ、例年開催の日本舞踊や演劇等のワークショップとあわせて、幅広い年代の文化芸術を担う人材の育成を行うことができた。</p> <p>また、会館リニューアル工事中から積極的に展開しているアウトリーチ事業は、各地域で恒例行事として認識されリピーターも増えている。市役所1階で開催した「ふれあいプラザコンサート」は、毎回、100席の座席が埋まり立見も多く出るなど盛況であった。普段生の音楽に触れる機会の少ない方にも本物の芸術を届けることができた。</p> <p>芸術文化鑑賞事業ではポピュラー音楽、落語、ミュージカルなど人気公演を多く開催し、良質な公演を地元のホールで楽しむ機会を市民に提供できた。また、海外の演劇や沖縄の伝統芸能など、普段触れる機会の少ないジャンルの事業も実施し市民が多様な芸術に触れる機会を作った。なお、自主事業の参加者・来場者アンケートでは事業満足度が90%以上であった。</p> <p>会館の管理運営では、大型台風や新型コロナウイルス感染症のまん延など、通常業務に支障の出る事態も発生したが、茅ヶ崎市と緊密に連携し、早期に利用者への情報提供などの対応を行い、利用者の安全安心の確保に努めた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による市民文化会館の長期休館、公演の中止、市民の文化芸術活動の自粛、自主事業の中止・延期が続き、市民が文化に触れる機会が激減している。日常生活に制限があり閉塞感のある現在のような状況であるからこそ、文化芸術を通して心の安らぎ・潤いを市民に提供していく必要がある。</p> <p>自主事業では、安全衛生対策を徹底し「3密」を避け「新しい生活様式」を取り入れて事業を行っていく。利用取消により毎年高い利用率を維持しているホールに空きがあることから、舞台上や舞台裏を活用した事業なども行い会館利用率のアップにつなげていく。今後暫くは、来館しての事業参加が困難な状況から、動画配信や紙媒体等を活用し、多様な形で市民が文化芸術への参加が引き続き可能となるよう努める。</p> <p>また、SNS (Facebook、Twitter、Instagram) を活用し、今まで情報が届きにくかった主に若い世代に向け、自主事業・市民文化会館の活動への関心を高めてもらうよう、ホームページとは異なった角度で工夫を凝らした情報発信を行っていく。</p> <p>貸館・施設管理事業では、引き続き徹底した感染症対策を行い、対策への取り組みを広く周知していくことで市民が安心して利用できる環境を整え、減少している利用率の回復に努める。</p>				

(2) 事業名： 美術館事業

事業概要 郷土の芸術文化を後世に伝えるとともに、市民の創作活動や次世代を担う青少年の創造力の育成を図り、広く芸術文化の向上に寄与するという設立趣旨に基づき、展覧会や講座、ワークショップなどの実施を通して、幅広い芸術文化に市民が気軽に触れ合える機会を提供した。	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	貸出施設利用率（%）	45	35	△ 10
	展覧会観覧者数（人）	59,360	20,651	△ 38,709

取組結果	課題・今後の方向性
<p>展覧会事業のうち、企画展はまず春に開館以来はじめて本格的に海外作家を取り上げ、アイルランドを代表するアーティスト、リチャード・ゴーマン氏の作品を紹介した。夏には、茅ヶ崎の道をテーマにアーティストが障害者や子どもたちと一緒にリサーチやディスカッションを重ね、作品の制作・展示を行うという、斬新な手法を試みた「美術館まで（から）つづく道」展が美術関係者にとどまらず、福祉関係の方々からも注目を集め、「神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞するなど高い評価を得た。秋の企画展の「江戸の遊び絵づくし」展は、体験型の鑑賞ブースが評判を呼び、家族連れでの観覧も多く人気を集めた。12月からは地元のアーティストを発掘する成果として、海外からも注目を集める茅ヶ崎在住作家の城田圭介氏を取り上げ、初めての本格的な個展を開催した。</p> <p>共催展では、地元の美術活動を牽引する存在である茅ヶ崎美術家協会と共に会員および公募による市民の作品を展示したほか、茅ヶ崎・寒川地区の中学校が行う美術授業の成果を発表する展覧会を実施するなど、地域の幅広い世代の美術活動を支える事業を実施した。</p> <p>このほか、美術館長が日本の美術史をわかりやすく解説する美術館講座や市民が美術に親しむ機会を提供する実技講座、造形ワークショップを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3月以降の事業はやむなく中止となった。</p>	<p>本年度の企画展は、これまでとは一味違ったパステルに富む構成となり、このうち3本はいわゆる現代美術の範疇に入る作品の展示となった。そのため、若い世代の観覧も見受けられ、新たな客層の開拓に結びついたが、全体の観覧者数は伸び悩んだ。</p> <p>また、年配の方からは展示内容が難しい、鑑賞方法がわからないという感想もいただいたことから、今後はよりきめ細やかな展示解説に努めていく。</p> <p>3月以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により6月末までの休館を余儀なくされ、再開後も入館者数の上限設定、展覧会の関連催事や教育普及活動の中止などが続いている。</p> <p>このため、美術館に足を運ばずとも、展覧会や収蔵作品などの情報を知っていただく仕組み作りが喫緊の課題となっている。</p> <p>今後は、ポストコロナ禍も見据えつつ、ホームページやデジタルコンテンツを含む様々なメディアを活用し、従来の手法にこだわらない事業展開を急ぎたい。</p>

(3) 事業名：松籟庵事業

事業概要	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	貸出施設利用率（%）	46	40	△ 6
	自主事業実施数（件）	9	7	△ 2

本年度も、一昨年度および昨年度に続き、施設の認知度を高め、より幅広く市民の皆様に松籟庵に親しんでいただくことを課題とした。そのため、長年取り組んでいる茶道および伝統文化に関する入門講座に加え、季節や節句にちなんだ事業を積極的に行った。

取組結果	課題・今後の方向性
<p>自主事業の実施数は、前年度より減少となったが、財団が指定管理者となって以来、毎年地域の文化活動団体である茅ヶ崎茶道会の協力を得て夏休み期間に実施している「おやこ茶道教室」は、本年度も多数の応募があり好評を得た。</p> <p>また、日本の伝統文化を紹介する「和の文化倶楽部」は、大人向けの茶道体験や地元の茅ヶ崎菓子組合の和菓子職人を講師に迎え練り切り作りに挑戦する講座のいずれも、参加募集開始後間もなく定員となる人気であった。</p> <p>このほか、当初の計画外事業となる新たな取り組みとして美術館とも連携した「能楽 能と仕舞の体験」を開催したほか、「桜花茶席」・「七夕茶会」・「秋の野点」など自然豊かな松籟庵の四季折々の表情を楽しみながら気軽にお抹茶に親しむ行事を開催した。</p>	<p>自主事業については、いずれも定員を上回る応募があり、和の文化倶楽部や能の講座は、募集開始からすぐに定員に達するなど、市民の伝統文化に対する関心やニーズが常に高いことを示している。また、事業の参加者の満足度も高く好評を得ていることから、これらの事業の重要性を今後も認識していく必要がある。</p> <p>一方、各事業とも幅広く市民が気軽に伝統文化に親しむ機会を提供するという前提で企画し、参加費も低廉な設定を心がけてきたが、採算面では厳しい状況にあり、今後は公益性に留意しつつ事業継続のための収支改善を図っていく。</p> <p>そして、何よりも現在の新型コロナウイルスによる感染が収束するまでの間は、施設の特性上換気などに問題があることなどから、これまでと同様の事業の実施は難しい状況にある。</p> <p>施設の貸し出しについても、利用実績の漸減傾向が続く中、コロナ禍以降は激減することとなった。こうした状況下においては、新しい生活様式を踏まえ、体験型事業の実施については慎重に判断する一方で情報発信型の事業を検討し、コロナ禍収束後の施設利用回復に向けて茶道目的以外の利用率を高める手立てを講ずることも優先課題と考える。</p> <p>こうしたことから、地域の文化活動団体ほかとの連携強化やSNS・デジタルコンテンツなどの活用も検討しつつ、市民の文化活動を支える場としての役割をより強めていきたい。</p>

(4) 事業名：埋蔵文化財事業

事業概要	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	茅ヶ崎市が事業主体となるインフラ整備や開発に伴う発掘調査や学術調査の補助業務を受託した。 また、茅ヶ崎市域の歴史や埋蔵文化財調査への理解を深めるための教育普及事業を実施した。	埋蔵文化財調査受託事業数（件）	6	6
	自主事業実施数（件）	3	3	0

取組結果	課題・今後の方向性
<p>本年度は、市教育委員会から、これまでの発掘調査の成果物の再整理や学術調査の補助事業など4事業、また下水道布設工事に伴う発掘調査の報告書作成事業及び道路改良工事に伴う発掘調査補助事業を受託するなど、地域の埋蔵文化財の解明に寄与した。</p> <p>教育普及事業については、夏休み期間に勾玉作りを学ぶ「親と子の考古学講座」を実施し定員を上回る申し込みがあったほか、12月には前年度の調査成果を分かりやすく紹介する遺跡調査展示会や発表会を教育委員会と共に開催し、地域の歴史について市民が理解を深める機会を提供した。</p>	<p>埋蔵文化財事業については、本年度を以て終了することとなった。</p>

(5) 事業名： 体育館事業

事業概要 市民のスポーツ、レクリエーション活動及び健康維持・増進の拠点として、茅ヶ崎市総合体育館及び茅ヶ崎市体育館について、老朽化した施設の改善を図るなど利用者の満足度を高める取り組みを行いながら施設の管理・運営を行った。また、生涯にわたりスポーツを楽しみ、健康で文化的な生活が送れるよう各種スポーツ教室を開催した。	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	貸出施設利用率（%）	86	86	0
	自主事業実施数（件）	24	25	1

取組結果 両体育館の施設は、会議室を除き年間を通してほぼ空きがなく利用があった。施設の老朽化に伴う不具合な箇所は、利用者の安全性、利便性を第一に考え修繕等速やかに対応した。 年度後半に発生した新型コロナウイルス感染症への対応は、利用者が安心して施設利用ができるよう環境整備に努めた。 スポーツ教室は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に多種多様な25事業を実施し、延べ5,642人の参加があった。参加者アンケートでは各事業とも満足度は高く、概ね好評であった。	課題・今後の方向性 施設の躯体、設備、備品の老朽化、劣化により、利用者に影響が出ないよう、対応を市と協議していく。 体育館の施設利用率を下げている要因は、会議室の利用率が37%と低いことである。利用率向上の取り組みとして、年度途中から会議室を会議目的以外のストレッチ等軽スポーツへの貸し出しを始めましたが、利用率の伸びは小幅に留まっており、今後さらなる利用促進を図る。 スポーツ教室は、好評をいただいているが、約7割の教室が収益に対して費用が大きい状況で、参加料で事業経費を賄っていない。事業の1つ1つについて、事業の必要性、内容、講師の選定、実施回数、適切な参加料等の見直しを進める。
---	--

(6) 事業名： 体育施設事業

事業概要	活動状況（単位）			
<p>市民のスポーツ、レクリエーション活動及び健康維持・増進の拠点として、茅ヶ崎公園野球場・庭球場、芹沢スポーツ広場蹴球兼野球場・庭球場、堤スポーツ広場多目的球技場・庭球場、柳島しおさい公園について、老朽化した施設環境の改善などを図るなど利用者の満足度を高める取り組みを行いながら施設の管理・運営を行った。また、生涯にわたりスポーツを楽しみ、健康で文化的な生活が送れるよう各種スポーツ教室を開催した。</p>	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	貸出施設利用率（%）	62	62	0
	自主事業実施数（件）	8	9	1
取組結果	課題・今後の方向性			
<p>各施設にある庭球場は、年間を通じてほぼ空きのない状況で利用があった。各施設の野球場、多目的球技場、少年蹴球場等は、土・日・祝日の利用率は高いが、平日の利用率が落ちるため、全体の利用率は60%台となっている。</p> <p>平日の利用を促進するため、年度途中から施設近隣の幼稚園や高校、大学の部活サークル等に利用の呼びかけを始めた。成果はまだ明確には現れていないが、公益財団法人として地域貢献も大事な施策としてとらえ、施設の有効活用を進める。</p> <p>各施設の老朽化に伴う設備・備品等の不具合な箇所は、利用者の安全性、利便性を第一に考え、修繕等速やかに対応した。</p> <p>年度後半に発生した新型コロナウイルス感染症への対応は、利用者が安心して施設利用ができるよう環境整備に努めた。</p> <p>スポーツ教室は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に9事業を実施し、延べ745人の参加があった。参加者アンケートでは各事業とも満足度は高く、概ね好評であった。</p>	<p>施設の躯体、設備、備品の老朽化、劣化により、利用者に影響が出ないよう、対応を市と協議していく。</p> <p>庭球場以外の平日の各施設の利用率を高めることが課題である。施設に空き状況をつくらず有効活用できるように、近隣の幼稚園や保育園などに声掛けしてお散歩や遠足にご利用いただいたり、柔軟な利用時間対応により近隣の高校や大学の部活サークルの利用促進を積極的に行っていく。また、現在施設においてテニスラケットやサッカーボールなどの貸し出しを行っているが、さらに貸出物品を増やし、利用者の利便性や気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを進めていく。</p> <p>スポーツ教室事業は、概ね好評をいただいているが、収益に対して費用が大きい事業は、体育館事業同様、必要性、教室の内容、講師の選定、実施回数、適切な参加料等の見直しを進めていく。</p>			

#### 4 総合評価

(1) 財務について	
評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>令和元年度は、施設別に見ると文化会館以外は経常収益、経常支出ともに前年度より減少した。これは、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症まん延のため、施設利用の取りやめ、事業の中止や休館が大きく影響している。文化会館においては、新型コロナウイルス感染症の影響は出ているものの、平成30年度は耐震補強・改修工事により開館期間が半年間であったが、令和元年度は1年間となったことから収益、支出ともに前年度より増加している。文化会館の収益・支出の増加により、財団全体の収益・支出が前年度より増加した。</p> <p>評価指標では、埋蔵文化財事業関連の指標以外では、自主事業比率を除き、前年度数値を上回った。これらの指標は、前年度において経営計画の目標値を既に上回っていたため、さらに安全性、効率性は高まっている。</p> <p>自主事業比率が低下したのは、新型コロナウイルス感染症の影響で、自主事業を中止したこと及び事業費全体が増加したことによる。</p> <p>正味財産は、前年度に比べ減少した。これは流動資産の現金・預金の減少が大きな要因で、主催事業収益が大きく減少したことによる。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症のまん延状況下で、施設の管理運営、事業の実施を行っていく中で、正味財産の減少を抑えていくためには各施設において、感染対策を行い休館になることを防ぐこと、経常費用の減少に取り組むこと、そして改めて業務を見直し、必要性を考え、効率的、効果的な業務を行う必要がある。</p>	<p>市民の安全安心のため、積極的に新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策の必要な措置をとっていることについて高く評価する。</p> <p>施設の稼働率の低下の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことは理解できるが、それ以外にも要因はないか分析し、稼働率の向上に努めていただきたい。</p> <p>また、自主事業比率の低下はやむを得なかったと思われるが、事業の実施にあたっては、これまで以上に積極的に自主財源を確保しつつ、収益を上げる事業とアウトリーチ事業等の利益の出ない事業について、意識的にバランスをとりながら、例年計画している事業を見直していただきたい。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の大幅な減少が予測される。これを機に、施設の管理運営方法とそれに伴う経費面について、抜本的な改革を求めたい。</p>

## (2) 事業について

評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>事業評価は、来年度からの本格実施に向けて、担当課による評価を行い理事会で報告した。来年度からはPDCAサイクルに基づき理事も含めた事業評価を行い、次年度の事業計画策定を行う。</p> <p>文化会館事業は、幅広い年齢層の市民に様々なジャンルの人気の高い舞台公演や、ワークショップなどを提供した。各事業はアンケート結果からも市民から高い評価を得られた。</p> <p>アウトリーチ事業は3年目を迎え、市内各地で定着を見せはじめ毎回楽しみにするリピーター・ファンが増えるとともに、初めての方が参加することで、財団の活動に関心を持つ新たな市民を増やす機会となった。</p> <p>美術館事業については、海外作家の本格的な紹介に取り組むとともに、障害者や子どもとアーティストが共に展示会を作り上げるなど、これまでにない新しい取り組みに挑戦し、高い評価を得た。また、本年度も、条例に定められた休館日の一部を臨時開館し、より多くの市民が利用する機会を提供するなどサービスの向上に努めた。今後も、地域の美術活動に目を配りつつ、より幅広い世代の方々に美術館に親しんでいただく多様な仕掛けの実践が急務と考える。建物・設備の経年劣化については、全体を抜本的に改修する段階を迎えている。特に展示室については観覧者から不具合を指摘する声が増えており、市との協議を進めたい。</p> <p>松籟庵事業については、コロナ禍により貸出施設の利用が大打撃を受けている。新たな生活様式に基づくガイドラインの厳守や安全対策の徹底を図りながら、利用者数の回復に努めたい。自主事業についても、松籟庵の魅力をアピールする良い機会と捉え、メディアの活用を進めていく。</p> <p>埋蔵文化財事業は、財団発足以来、市の埋蔵文化財行政の一翼を担ってきたが、本年度を以て終了することとなった。</p> <p>スポーツ教室の実施した全34事業の延べ参加人数は6387人、前年度比1997人の増で、47%の増加率であった。各事業のアンケート結果では満足度も高く概ね好評である。しかしながら、事業経費が収益を上回る事業が多い状況から、今後は、改めて参加費などを見直す必要がある。</p> <p>前年度の収支差額を財源としながら、適宜、老朽化した設備、備品の修繕や刷新を実施し、市民（利用者）サービスの還元に努めた。</p>	<p>文化会館事業については、参加者の満足度評価が高く、アウトリーチ事業が定着しはじめるなど、事業の質の高さについて評価している。アウトリーチ事業をはじめとする新たな層への需要喚起となる事業をさらに強化し、市の文化拠点として、施設のみならずまち全体の文化芸術振興を図る事業展開を期待している。</p> <p>美術館事業については、郷土美術館としての役割に主軸を置きながら、新たな取り組みに積極的に挑戦しており、話題性や受賞キャリアに表されるように対外的にも高く評価されている。今後とも新たな取り組みに挑戦しながら、教育現場へのアプローチ・支援にもより力を入れていきたい。</p> <p>松籟庵事業については、貸館としての需要は減少傾向にあるが、特に日本文化の発信拠点として、茶道以外の文化に触れられる事業展開も積極的に努めていきたい。</p> <p>埋蔵文化財事業については、事業を担う専門職員の確保が困難となったことから本年度をもって財団の事業を終了し、市が直営で実施することとなった。これまでの埋蔵文化財の調査・普及啓発への精力的な取り組みに対し謝意を示したい。</p> <p>スポーツ事業については、施設の老朽化が進む中で適宜修繕を実施し、利用者の安全や利便性確保に努められたことについて評価する。また、教室事業についても参加者から一定の評価は得られたものとして認識している。しかしながら、一部の教室事業の採算性や施設の稼働率上昇といった点については、継続した見直しや新規事業の開拓などを見据えた運営をしていきたい。</p> <p>全体をとおして、今後も新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策を講じる中で、様々な制約によりこれまでのような事業展開が難しくなると予測されるが、事業評価制度を有効に活用し、収益増や受益者負担の考え方をより一層取り入れた事業計画を策定するとともに、ウィズコロナの時代に対応した新たな事業展開にも挑戦し、必要とする人に必要なものをしっかり届けていきたい。</p>

## (3) 市総評

指定管理者として、多くの市民が利用する公の施設の管理運営を主たる事業として担っていることから、新型コロナウイルス感染症のまん延により、その事業運営に大きな影響を受けたと言える。前例の無い中で、施設の休館を始め、市民の安全安心のため、柔軟かつ機動的な対応を行ったことは評価する。感染症の収束が見込めない中、従前のような施設利用が困難である状況下においても、市と連携を図りながら、引き続き柔軟かつ機動的な対応を期待する。

一方、新たな生活様式が求められる中、従前のような枠組みに基づく事業展開が必ずしも適切とは言えない。新型コロナウイルス感染症対策を始めとした社会情勢の変化に適切に対応できるよう、団体や施設の設置目的を踏まえ、引き続き、自立的な経営基盤の確立を目指すとともに、新たな市民ニーズに応える形で事業を展開していただきたい。また、取組に際しては、各事業に求める公益性や収益性、事業の組合せのあり方等について、市と緊密に対話を行い、次期指定管理期間における公募を見据えた取組を進めていただきたい。

## II 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団

### 1 団体について

#### (1) 概要

(令和2年3月31日現在)

名称	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団	担当部課	福祉部障害福祉課		
所在地	神奈川県茅ヶ崎市矢畑262番地2				
設立年月日	平成5年3月9日	基本財産	3,000千円	市出資率	100%
設立目的	茅ヶ崎市の社会福祉事業の推進を図り、広く市民福祉の増進に寄与することを目的とする。				
事業概要	第二種社会福祉事業（児童発達支援センター・児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業、就労移行支援事業・就労継続支援事業B型、生活介護事業、共同生活援助事業、障害児相談事業、特定相談事業）、公益事業等				
情報公開	HPアドレス	<a href="http://chigasaki-sfj.jp/">http://chigasaki-sfj.jp/</a>			
	公開情報	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 評議員・役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画等			

#### (2) 指定管理者として管理する公の施設

(単位：千円)

施設名	指定管理期間	債務負担合計額 (4年間)
① 茅ヶ崎市障害児通所施設	H28.4.1～R2.3.31 (4年間)	813,028
② 茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホーム	H28.4.1～R2.3.31 (4年間)	565,294

(3) 人員等の状況

(令和2年3月31日現在)

			平成30年度	令和元年度	増減	
役員	常勤	役員数 (人)	2	2	0	
		うち市OB (人)	1	2	1	
		平均年齢 (歳)	62.5	62.5	0	
	非常勤	役員数 (人)	7	7	0	
		うち市OB (人)	3	3	0	
		平均年齢 (歳)	71.0	69.9	△ 1	
合計 (人)			9	9	0	
職員	常勤	職員数 (人)	28	25	△ 3	
		うち市OB (人)	0	0	0	
		平均年齢 (歳)	39.3	39.5	0	
	非常勤	職員数 (人)	81	86	5	
		うち市OB (人)	5	4	△ 1	
		平均年齢 (歳)	53.9	54.3	0	
	合計 (人)			109	111	2

(4) 人件費等の状況 (役員)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	役員のうち常勤役員報酬対象者 (人)	※ 1	1	0
	役員報酬 (千円)	4,568	5,017	449
	役員平均報酬 (千円)	4,568	5,017	449
非常勤	役員のうち非常勤役員報酬対象者 (人)	6	7	1
	役員報酬 (千円)	250	570	320
	役員平均報酬 (千円)	41	81	40

※ 常勤役員2人のうち1人は、事務職員として給与を受け取っている  
(常勤職員給与に計上している) ため、常勤役員報酬対象者は1人としている。

(5) 人件費等の状況 (職員)

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	職員給与	166,955	168,210	1,255
	職員平均給与	5,757	6,469	712
非常勤	職員給与	105,692	107,259	1,567
	職員平均給与	1,304	1,261	△ 43

## 2 財務について

### (1) 財務諸表

(単位：千円)

財務諸表	平成30年度	令和元年度	増減
総収入	421,673	408,606	△ 13,067
総支出	421,887	386,458	△ 35,429
当期収支	-214	22,148	22,362
資産合計	359,169	387,592	28,423
負債合計	74,993	81,237	6,244
正味財産合計	284,176	306,355	22,179
当期正味財産等増減額	-214	22,148	22,362

### (2) 総収入に占める市の財政支出状況等

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減	
総収入に占める市の財政支出額	内訳	補助金	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
		負担金	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
		委託料	13,644 ( 3.2%)	12,265 ( 3.0%)	△ 1,379
		指定管理料	334,028 ( 79.2%)	310,736 ( 76.0%)	△ 23,292
		その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
		小計	347,672 ( 82.5%)	323,001 ( 79.0%)	△ 24,671
その他収入		74,001 ( 17.5%)	85,605 ( 21.0%)	11,604	
合計(総収入)		421,673 (100.0%)	408,606 (100.0%)	△ 13,067	

※金額の括弧書きは総収入に占める割合

### (3) 経営評価指標

(単位：%)

経営評価指標		平成30年度	令和元年度	増減
自立性	補助金依存率	0.0	0.0	0.0
	受託事業収入率	3.0	3.1	0.1
	自主事業費比率	10.6	13.2	2.6
安全性	自己資本比率	79.1	79.0	△ 0.1
	流動比率	564.0	490.3	△ 73.7
効率性	人件費比率	79.0	76.5	△ 2.5
	管理費比率	6.4	6.6	0.2

### 3 主要な事業について

(1) 事業名：つつじ学園					
事業概要 <基本方針> 子どもたち一人ひとりを尊重し、愛する地域で自分らしく生活できるように、子どものニーズに寄り添った支援を行い、早期療育の定着を図ることにより、基本的生活能力を高め、情緒豊かな人間性を養う。 <事業> ①児童発達支援センター(定員30名) ②児童発達支援事業(1日あたりの定員20名) ③保育所等訪問支援事業	活動状況(単位)				
	項目		平成30年度	令和元年度	増減
	①	利用人数(人/日平均)	30.4	30.8	0.4
		延利用者数(人)	6,898	6,930	32
		②	利用人数(人/日平均)	12.3	11.9
③	延利用者数(人)	2,852	2,707	△ 145	
	延利用者数(人)	66	36	△ 30	
取組結果		課題・今後の方向性			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじ学園における療育支援の内容及び保護者の考え方などについて、相互理解を深めながら療育支援の向上並びに障害理解を図るため、数々の懇談会や公認心理師などの専門職員とお話し会、勉強会など保護者との情報交換や日頃の想いを共有する機会を積極的に設けた。</li> <li>・嘱託医師等による実例をもとにした研修や効果的な支援の在り方として疑似体験、模擬療育など現場に即したプログラム研修を定期的実施し、非常勤職員を含め療育の質の向上に繋げた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員体制がなかなか固定されず、毎年流動的な職員配置となっている。療育という現場の業務負担を考慮した場合に経験値が特に重要となるため、長く勤務してもらう職員を育成することと労働法制の改正に合わせ、職責に応じた役割分担を明確にすることが急務である。</li> <li>・児童福祉施設として築き上げてきた長所や強みなどを活かした運営を行っていくとともに、これまでに構築した関係機関との連携体制を活用しながら、個々の特性と希望に応じた支援を一層充実させていく。</li> <li>・つつじ学園という一つの事業所として、定員の在り方や最適な障害児通所給付サービスの提供量について精査し、その結果を市へ提言していく。</li> </ul>			

(2) 事業名：ふれあい活動ホーム赤羽根

事業概要		活動状況（単位）				
<p>&lt;基本方針&gt;                      障害をもつ方が働きながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。                      利用者一人ひとりの希望や実態に則した目標を設定し、施設内・外での作業を通じて自立した社会生活と一般就労へ向けての支援を行う。                      利用者が地域で経済的にも自立して生活するために、工賃水準の引き上げを目指す。                      &lt;事業&gt;                      ①就労移行支援（定員6名）                      ②就労継続支援B型（定員23名）</p>		項目	平成30年度	令和元年度	増減	
		①	利用人数（人/日平均）	3.3	4.5	1.2
			延利用者数（人）	794	1,157	363
		②	利用人数（人/日平均）	25.8	24.5	△ 1.3
			延利用者数（人）	6,221	6,278	57

取組結果	課題・今後の方向性
<p>・公表されている神奈川県内就労継続支援B型事業所の工賃実績と比較し、高水準の工賃支給を維持することができた。                      ＊赤羽根の月額平均工賃 28,015円＊                      （参考・神奈川県内の平均月額工賃額/平成30年度実績 14,696円）                      ・一般就労者数は1名であったが、施設外作業での就労支援従事者は前年度比106.3%となり、利用者が働くためのスキルアップに努めた。</p>	<p>・旧印刷室については、備品撤去後、作業環境に配慮が必要な利用者に対応できるよう、パーティションを活用したパーソナルスペース及び作業スペースを確保していく。                      ・これまでに構築した地域をはじめ関係機関との連携体制を活用しながら、利用者個々の特性と希望に応じた支援を一層充実させる。特に就労移行支援での一般就労者を一定数確保する方策を講じながら事業の充実を図る。</p>

(3) 事業名： あっとほーむ小和田（グループホーム）

事業概要 <基本方針> 利用者が地域において共同して、基本的な人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護並びに相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行う。一人ひとりの人権を尊重し、個々の特性とニーズに即した、心のかよいあうサービスを提供する。 <事業> 共同生活援助 （定員：小和田5名・松が丘5名・高田6名・サテライト2名）	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	定員（人）	12	18	6
	住戸数/サテライト含（戸）	4	5	1

取組結果	課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてマンションタイプの賃貸物件を利用し、令和2年2月に定員6名の「あっとほーむ高田」を増設した。</li> <li>・専任には至らなかったが、管理者、サービス管理責任者とは別に常勤の生活支援員を配置し、組織体制の整備と支援内容の強化を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員、住戸数の増加に伴い、これまで以上に生活支援員への業務増が見込まれるため、生活支援員と世話人の業務分担を見直しつつ、バックアップ事業所職員と協力しながら、利用者の暮らしを支援する。また、利用者の様々な障害特性の理解や支援方法、現場の困りごとなどを随時共有するため、世話人会議と内部研修を充実させる。</li> <li>・次に目標とするグループホームの対象者は、重度の障害をもつ方を想定しているため、既存ホームでの体験利用を通じ利用者ニーズを把握するとともに、ハード、ソフト面の課題を抽出し具体像を描いていくほか、経理規程に規定された施設整備積立金の積立てを準備する。</li> </ul>

#### 4 総合評価

(1) 財務について	
評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>法人の中長期的な事業展開を見据え、累積資産を特定資産化し適切に管理することを目標に、令和元年度は車輛に係る備品等購入積立金を積立資産化し、車輛の買い替えなどの将来の支出に備えた。</p> <p>また、年度中に資産の運用方針等について定め、資金の適正かつ効率的な運用を通じて法人の維持発展に資することを目的とした資金運用規程を制定し、資産運用を開始した。</p>	<p>総収入が前年度比で減少したものの、総支出も減少しており、約2,200万円の黒字化となっている。</p> <p>収入に関しては、福祉会館事業の指定管理の廃止等により減収となっている。しかし、就労支援事業において、軽作業受託の営業に尽力した結果、大きな収入を実現し、神奈川県内の就労継続支援B型事業所の平均工賃額に比して高い工賃を実現している。</p> <p>支出に関して、平成30年度の賞与引当金計上など、様々な要因はあるものの、大幅に削減している。中長期的な視点として、資金運用を開始し、有価証券の取得、再建資産の積立てを行った。このために、現金預金約2,700万円を固定資産化しており、流動比率は低下しているが、安全性は十分に保たれている水準である。</p> <p>また、第3期中期経営改善計画のアクションプランに基づくグループホームの増設により、自主事業費が増加しており、自主事業収入も伸びることが期待される。</p> <p>このように、収支の両面において自立的な経営を意識した取り組みが見られることは、大いに評価できる。今後も引き続き、積極的な事業展開及びアクションプランの着実な実行により、自立性の高い経営を推し進めていただきたい。</p>

(2) 事業について

評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>利用者や保護者のニーズを捉えることを第一に、それぞれの事業目的に沿い、求められるサービス提供に努めた。新型コロナウイルス感染症への対策として、消毒の徹底や分散利用など、各事業所の状況に即した対応を迅速に行いながら、事業所内での感染防止を図った。また、感染症への不安が募る利用者等へ感染予防について情報提供を行うとともに、通所を自粛する利用者には電話等での支援を行い、利用者や保護者に寄り添った支援を継続した。</p> <p>人材なくして成り立たない事業であるが、現場が抱える業務は多岐に渡り、負担感が増す状態だが、人材が人財となるよう職員の定着を主眼に、支援に関する悩みの共有や支援力向上を目的に内部研修などを充実させた。</p> <p>そのような状況下であったが、第3期中期経営改善計画（令和元年度～令和5年度）のアクションプランに基づき、ほぼ計画通りにグループホームを1ヶ所増設し、市域の社会資源の充実に貢献できたことは大きな成果であった。</p>	<p>利用者や保護者のニーズを捉えながら、各々が必要とする支援の提供に努めていた。</p> <p>療育や障害福祉サービスの向上を目指し、専門職等による勉強会や研修会を重ね、質の向上を図っている。また、新型コロナウイルス感染症対策として、環境管理や利用者の分散等、各施設の状況に即した対応を徹底し、利用者や家族に寄り添った対応を行ったことは評価できる。また、法改正があった際は、率先して情報を集め、保護者等へ積極的に対応していた。</p> <p>一方で、職員不足は継続的な課題として残っていることから、職員確保に向けた新たな取り組みにも期待したい。また、昨秋の台風第19号への対応は課題が見えたところもあり、社会福祉法人としての使命や、福祉避難所として協定を締結していることなど、それらを意識した対応を期待したい。</p> <p>第3期中期経営改善計画に沿って県内の児童発達支援事業所等にアンケート調査を行うなど、今後を見据えた中で調査・研究に取り組んでいる。今後も第3期中期経営改善計画を着実に実行することにより、より充実した療育や障害福祉サービスが提供できるよう、取り組みに期待する。</p>

(3) 市総評

<p>地域における社会福祉事業の担い手としての重要な役割を果たすことが期待されている中で、障害者等を取り巻く社会情勢が絶えず変化する状況下にあっても、経費の削減努力をしながら、多様なニーズに対応し、新型コロナウイルス感染症対策や公益性を意識した事業展開を行っていることは評価する。</p> <p>先駆的な事業や地域の実情に対応した必要な事業の実施をはじめ、利用者のニーズを的確に捉えた工夫した事業を展開し、福祉サービスのさらなる質の向上に取り組んでいただきたい。価値の高いサービスの提供を持続的に行っていくためには、自立的で安定的な経営基盤を築くことが必要であり、指定管理者として、令和2年度から導入される利用料金制も契機としてより高い経営意識をもち、団体の経営改善計画に基づく取り組みを推し進めていただきたい。</p> <p>団体の強みであるこれまでに培った実績と、利用者や関係機関との信頼関係を含めた資産を最大限に活用し、今後の積極的な事業展開や人材確保等、課題解決に向けた主体的な取り組みを期待する。</p>
---

### Ⅲ 公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター

#### 1 団体について

##### (1) 概要

(令和2年3月31日現在)

名称	公益社団法人 茅ヶ崎市シルバー人材センター	担当部課	福祉部高齢福祉介護課		
所在地	神奈川県茅ヶ崎市十間坂一丁目4番8号				
設立年月日	平成2年10月1日	基本財産	-	市出資率	-
設立目的	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、健康で働く意欲を持つ定年退職者等の高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供すること等により、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、もって高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。				
事業概要	臨時的かつ短期的な就業機会の開拓及び提供、就業に関する情報の収集及び提供、臨時的かつ短期的な職業紹介事業又は労働者派遣事業、就業に必要な技能講習会、就業に関する調査研究、就業に関する相談等				
情報公開	HPアドレス	<a href="http://chigasaki-sjc.com/">http://chigasaki-sjc.com/</a>			
	公開情報	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 評議員・役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画等			

##### (2) 指定管理者として管理する公の施設

(単位：千円)

施設名	指定管理期間	債務負担合計額 (4年間※)
① 幸町第二自転車駐車場	H27. 12. 1～R2. 3. 31 (4年4月)	0
② 茅ヶ崎市自転車駐車場 (幸町第二自転車駐車場を除く)	H28. 4. 1～R2. 3. 31 (4年間)	0
③ 東海岸南自動車駐車場	H28. 4. 1～R2. 3. 31 (4年間)	0

※①は4年4月

(3) 人員等の状況

(令和2年3月31日現在)

			平成30年度	令和元年度	増減
役員	常勤	役員数 (人)	1	1	0
		うち市OB (人)	1	1	0
		平均年齢 (歳)	64	65	1
	非常勤	役員数 (人)	17	16	△ 1
		うち市OB (人)	1	1	0
平均年齢 (歳)		71	71	0	
合計 (人)			18	17	△ 1
職員	常勤	職員数 (人)	18	18	0
		うち市OB (人)	2	2	0
		平均年齢 (歳)	54	53	△ 1
	非常勤	職員数 (人)	55	56	1
		うち市OB (人)	1	1	0
		平均年齢 (歳)	69	69	0
合計 (人)			73	74	1

(4) 人件費等の状況 (役員)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	役員のうち常勤役員報酬対象者 (人)	1	1	0
	役員報酬 (千円)	2,844	472	△ 2,372
	役員平均報酬 (千円)	2,844	472	△ 2,372
非常勤	役員のうち非常勤役員報酬対象者 (人)	16	14	△ 2
	役員報酬 (千円)	851	649	△ 202
	役員平均報酬 (千円)	53	46	△ 7

(5) 人件費等の状況 (職員)

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	職員給与	79,938	86,129	6,191
	職員平均給与	4,702	4,533	△ 169
非常勤	職員給与	51,717	52,666	949
	職員平均給与	958	1,012	54

## 2 財務について

### (1) 財務諸表

(単位：千円)

財務諸表	平成30年度	令和元年度	増減
総収入	582,018	561,064	△ 20,954
総支出	566,627	568,100	1,473
当期収支	15,391	△ 7,036	△ 22,427
資産合計	216,065	203,422	△ 12,643
負債合計	79,854	74,246	△ 5,608
正味財産合計	136,212	129,176	△ 7,036
当期正味財産等増減額	15,391	△ 7,036	△ 22,427

### (2) 総収入に占める市の財政支出状況等

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減	
総収入に占める市の財政支出額	内訳	補助金	37,795 ( 6.5%)	35,352 ( 6.3%)	△ 2,443
		負担金	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
		委託料	166,651 ( 28.6%)	165,001 ( 29.4%)	△ 1,650
		指定管理料	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
		その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0
	小計		204,446 ( 35.1%)	200,353 ( 35.7%)	△ 4,093
その他収入		377,572 ( 64.9%)	360,711 ( 64.3%)	△ 16,861	
合計(総収入)		582,018 (100.0%)	561,064 (100.0%)	△ 20,954	

※金額の括弧書きは総収入に占める割合

### (3) 経営評価指標

(単位：%)

経営評価指標		平成30年度	令和元年度	増減
自立性	補助金依存率	6.5	6.3	△ 0.2
	受託事業収入率	50.7	50.5	△ 0.2
	自主事業費比率	62.7	62.1	△ 0.6
安全性	自己資本比率	63.0	63.5	0.5
	流動比率	314.3	339.7	25.4
効率性	人件費比率	26.6	28.5	1.9
	管理費比率	3.8	4.5	0.7

### 3 主要な事業について

(1) 事業名： 会員の就業機会の拡大及び提供（請負委任業務）					
事業概要	活動状況（単位）				
	項目	平成30年度	令和元年度	増減	
	<p>健康で働く意欲を持ち、臨時的かつ短期的就業、またはその他軽易な業務を希望する高齢者のために、今までの経験や技能を活かし、希望に沿った就業機会を請負又は委託により提供し、生きがいの充実および福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与しています。</p>	受託件数（件）	6,459	6,330	△ 129
		就業率（％）	78.5	73.9	△ 4.6
取組結果	課題・今後の方向性				
<p>ホームページやリーフレット等を活用し公共機関などへ広く理解を求め、また、市民ふれあいまつりにおいて来場者へのリーフレットの配布、図書館のスポンサー制度の活用など、PR活動を行いました。嘱託職員（相談員）（セカンドライフコンシェルジュ）により、就業機会の開拓に努め、95事業所から135人の求人を得、会員の希望に沿った就業の場の提供をし、60事業所へ84人が就労しました。</p> <p>なお、中期事業計画に基づき計画していた、会員1人1就業開拓運動の取り組みとして毎年度実施している就業先やご近所のお知り合いの方などへのセンターのパンフレットの配布は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施は見送りました。</p> <p>昨年度リニューアルしたホームページにはお客様の手続きや当センターが取り扱っている仕事の情報や会員への仕事の募集等を掲載したほか、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の助成金を活用し、郵便はがきを利用した「会員及び仕事の募集」広告事業を実施しました。</p> <p>また、情報発信のツールである当センターのPRビデオについて、現状に即した内容の改定に着手するなど仕事の拡大につながる取り組みを実施しました。</p>	<p>令和元年度の受託件数は、前年度と比べ減少しました。理由として、企業等の景気動向によるものや市からの受注の減少が影響したものと考えられます。</p> <p>しかし、就労を希望する高齢者の方がますます増加することが予測されることや、雇用の人材不足が予想される中で、センター事業の必要性が高まっています。</p> <p>このような状況を鑑み、これからも継続して、従来からの広報媒体の活用や企業などへの訪問、会員や職員が受注先の開拓や拡大を図ることにより、会員の就業機会の確保に努めていきます。</p> <p>さらに、現在制作中のセンターPRビデオを用いた効果的なPRや、リニューアルしたセンターホームページにより現状に則したセンター全般の基本的な情報を広く提供できるよう活用していきます。</p> <p>今後とも、会員にとって希望に沿った就業となるような確かなマッチングに努めるとともに、顧客ニーズに対応するため会員情報の管理について具体的に検討していきます。</p>				

(2) 事業名：茅ヶ崎市自転車駐車場9施設（指定管理業務）の円滑な運営

事業概要 茅ヶ崎市より指定管理者の指定を受け、自転車駐車場9施設の管理運営を行っています。管理運営にかかる経費は、当施設の利用料金収入で賄い、経費との差額については市に納付金として納付します。市民の皆様へ安全安心に気持ちよくご利用いただけるように、対面方式の利点を生かし、当施設の管理運営を適切に行っています。	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	利用件数（件）	3,580,396	3,528,093	△ 52,303

取組結果 本宿町自転車駐車場に高規格の防犯カメラを28台設置するなど安全安心に施設をご利用いただけるように努めました。また、新栄町第二自転車駐車場では、チャイルドシート装着車等が駐車しやすい平置き駐車スペースを拡充し、利便性の向上を図りました。接遇に関しては、外部講師を招いて研修を実施し、職員等の接遇スキルの向上を図りました。利用件数については、4月、7月の長雨、10月の台風などの天候による影響や2月～3月の新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う通勤、通学者の減少に伴い平成30年度に比べ減少しました。	課題・今後の方向性 施設利用者の安全安心及び利便性向上を図るため、市と連携し、二段式駐車装置など駐車場施設の改善を引き続き行います。また、気持ちよく施設をご利用いただくために、接遇に関する職員研修を実施し、あわせて接遇マニュアルを充実させ、職員等の接遇スキルを向上させることでリピーターの数を増やします。さらに、施設の混雑情報のリアルタイムでの配信により施設の利用促進を図るとともに、市内の県立高校へのチラシの配布などPR活動も積極的に行い、新たな利用者を獲得し、利用件数の増加に努めます。
---	--

**(3) 事業名：労働者派遣事業の拡大**

<b>事業概要</b> シルバー人材センターの労働者派遣事業とは、シルバー会員を派遣労働者とし、派遣元事業者である（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会との雇用契約、業務発注者である派遣先事業者との労働者派遣契約に基づき働く形態です。なお、当センターは派遣元事業者に代わり、就業に係る事務や連絡等の実務全般を実施拠点として行うものです。 このシルバー派遣事業により、派遣先から派遣労働者が指揮命令を受けて行う仕事や、専門的な知識、経験などが求められる仕事も受託できるようになり、会員の働き方の選択肢を増やすことが可能となっています。 加えて、請負・委任ではできなかった企業の社員と共同で働くこともできるようになり、長年培った豊かな経験と知識、または専門的な技能を有した会員を派遣することが可能です。	<b>活動状況（単位）</b>			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	就労延人員（人日）	10,759	15,043	4,284

<b>取組結果</b>	<b>課題・今後の方向性</b>
（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、労働者派遣事業を積極的に実施し、34事業所154人、延べ15,043人日（前年度比139.8%）の派遣実績がありました。 また、派遣会員に対し、教育訓練として接遇等の研修を実施しました。 さらに、会員や事業者の要望に応え、職種により就業時間の拡大を図ったほか、派遣会員の労働環境の整備を行いました。	前年度と比べ事業実績は大きく拡大しています。理由として、過去から現在までの継続的な普及啓発の取組みが浸透し、地域でのセンター認知度が向上してきたこと、新規企業や現取引のある企業等に対する営業、現在の就業契約に基づき就業している会員や企業などからの就業相談に対する細やかな対応、丁寧なフォローアップなどが評価されたことによるものと考えます。 しかし、これからも就業を希望する会員のため、また、茅ヶ崎の地域経済に対して人材で貢献していくために、人手が不足している分野をはじめ、企業の指揮・命令を要する業務などに対するアプローチ等を通じて、センターの事業として受託していけるよう努めていきます。 また、社会情勢の変化やそれら変化に伴い改正される各種関係法などにも対応していく必要があるため、最新の情報収集に努めていくとともに、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会と連携し、体制を維持・強化していきます。

## 4 総合評価

(1) 財務について	
評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>経営評価指標に関して、自立性を示す3項目、安全性を示す2項目については、各々次のとおりでした。</p> <p><b>【自立性3項目】</b>            補助金依存率が低下したことは数値としてはプラス評価ですが、その理由として、市補助金が削減されたことが大きな要因としてあげられます。また、経常収益が減少したことによります。            受託事業収入率について、その率の変動は微減であり、特記事項はありません。            自主事業費比率について、その率の変動は微減であり、特記事項はありません。</p> <p><b>【安全性2項目】</b>            自己資本比率について、その率の変動は微減であり、特記事項はありません。            流動比率について、数値としてはプラス評価であります。その理由として、流動負債が減少したことが要因としてあげられます。            次に、比率の変動の大きかった人件費比率や管理費比率についてはいずれもマイナス評価となります。人件費比率の増について、特別な要因はなく定期昇給や神奈川県最低賃金の改正に伴う賃金の増額が要因としてあげられます。管理費比率については当センターの設立30周年記念事業が計画されており、そのことに係る経費として約250万円を要したため、高い管理費比率となったものです。            最後に、経営評価資料の各数値に関しては、事業効率性や営利等の経営面の指標として、経営要素の判断指標として重要視されますが、センターにおいては様々な生活環境におかれた相談者、高齢者の訪問や相談を受ける機会も非常に多く、1件当たりの対応にも相当の時間を要することが多々あります。このようにセンターの事業は福祉的な対応要素が非常に高いため、事業効率や利益性と相反する対応を求められる機会が多いことを意味するものです。            このことは前述の経営評価指標の数値や評価に反映されることがない数値であることから、センターの事業評価にあたっては、一部あるいは特定の部分の数値のみによる判断や評価は難しく、シルバーの事業の特性を踏まえた評価が必要と考えます。</p>	<p>経費の支出額が収入額を上回っており、経常収益が減少していることから、単年度で見れば大きな問題はないかもしれないが、今後長期的な視点で経営状況の改善を検討する必要があると思われる。</p> <p>補助金依存率は下がっているが、補助金の減額による部分もあるため、状況は昨年度とあまり変わっていないと考える。今後、補助金の削減も想定されることから、自立した体制づくりが求められる。</p> <p>人件費の増加等による義務的経費の割合が高くなったほか、令和元年度は新型コロナウイルスの影響により収入が減額するなど、想定外にマイナスに作用する要因が起こったことも一因であったと考える。</p> <p>福祉的な要素が大きく、必要性が高い事業が多いが、今後も厳しい財政状況が想定され、経営面の部分での評価・見直しは必須であることから、中期事業計画に基づき取組状況の確認や検討等を行い、経営改善に努めていただきたいと考える。</p>

## (2) 事業について

評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>高齢者の生きがいの充実、福祉の増進や社会参加の推進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、引き続き各種事業の取組を進めてきました。</p> <p>はじめに、就業機会の確保と提供については、引き続き、当センターの事業について広く理解を求めるとともに、（公社）神奈川県シルバー人材センター連合会の拠点として、労働者派遣事業を積極的に進め、派遣事業の拡大を図りました。</p> <p>次に、自転車・自動車駐車場施設の指定管理業務については、市と連携して、利用者が安全に安心して利用できるよう、高齢者や子育て世代に配慮した施設整備や防犯対策などに取り組み、よりきめ細やかなサービスを提供してきました。</p> <p>また、安全・適正就業については、ガイドラインの周知・徹底を図り、違反に対する罰則を厳格に運用するとともに、安全管理委員会委員による巡回指導等を徹底し、さらなる安全就業等の推進を図ってきました。</p> <p>さらに、高齢者の社会参加に向けた動機づけと、生きがいをもって就労のできる場や地域社会に参加できる場への紹介を行うセカンドライフのプラットフォーム事業を市から受託し、「生涯現役応援窓口」の運営を常設の市庁舎のほか、臨時的に商業施設や公の施設で開設するなど市と連携し、継続して実施しました。</p> <p>以上、これらの事業の実施にあたっては、平成29年度から平成33年度までの5年間の中期事業計画を策定し、この計画に位置付けられた各項目の目標を達成するため、令和元年度の具体的な活動を確実に実施することとし、中期事業計画推進委員会において令和元年度の重点目標や活動事項などを定めるとともに、取り組み状況の確認や検証等を行いました。</p> <p>上記のとおり計画に沿った取り組みを進めてきたものの、新型コロナウイルス感染症の流行により、当センターにおける同感染症まん延防止策を講じたことや、同感染症の影響等を受け、取組みの一部を自粛、制限した年度でもありました。</p>	<p>記載いただいた3つの主な事業、またそれ以外の事業についても着実に取組を進め、順調に実施していただいていると考えます。</p> <p>「会員の就業機会の拡大及び提供」については、センターPRビデオの作成など、新しい取組を進めていただきました。高齢者の方にも分かりやすい動画でのコンテンツは、幅広いPR効果が期待できるため、今後、動画をどのように活用していくかの検討を進め、引き続き会員の確保に努めてください。また、就業率が前年度と比較して減少していることから、分析を行い、これから、多くの会員を就業につなげられるようにしてください。</p> <p>「茅ヶ崎市自転車駐車場9施設（指定管理業務）の円滑な運営」については、防犯カメラの設置や、平置き駐車スペースの拡充などの施設の利便性向上、研修による職員の接遇及び経営の改善に努めており、今後も引き続き利用者のことを優先に改善を図りながら、経費の節減等に努め、効率的な管理運営を推進してください。</p> <p>「労働者派遣事業の拡大」については、就労延人数が前年度比約40%増となり、着実に拡大がなされています。主に介護分野や保育分野でのマッチング実績が多く、福祉分野での人材確保の一助となるとともに、高齢者の就労機会の確保を図ることができている。</p> <p>セカンドライフのプラットフォーム事業は令和2年度以降、蓄積したノウハウを有効に生かし、既存のシルバー人材センター事業と密接に連携できるよう、シルバー人材センターの自主事業として運営し、市は事業協力という形で関わり、実施主体の最適化を図ります。</p> <p>昨年度末より新型コロナウイルスの影響により、想定していた活動ができなかったと思われま。今後の新型コロナウイルスの感染状況を含めた社会情勢の影響は大きいと考えられますが、各事業について検証を行い、軌道を修正しながら自主事業の実施に向けた検討や、着実な事業の実施をお願いいたします。</p>

## (3) 市総評

高齢化の更なる進行と人口減少社会に直面する中、団体に求められる役割はその重要性を増しているといえる。新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、予定していた事業の実施が制限されたが、セカンドライフのプラットフォーム事業や労働者派遣事業の強化等、団体としての役割を踏まえた事業を展開したことは評価できる。一方、今後も持続的に地域社会において団体の役割を果たしていくために、市からの補助金や委託等への依存率を減らし、変化する社会情勢に的確に対応することで安定的に民間顧客を獲得し、自立的で強固な経営基盤の確立をしていただきたい。

具体的には、最低賃金の改定といった外的要因への対応を含め、適正な事務費や手数料の設定をはじめ、収支改善に向けた積極的な取組や収益事業の展開を期待する。なお、収益事業の展開にあたっては、近年縮小傾向にある個人を対象とする請負事業の強化も考慮していただきたい。

## IV 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会

### 1 団体について

#### (1) 概要

(令和2年3月31日現在)

名称	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会	担当部課	福祉部福祉政策課		
所在地	神奈川県茅ヶ崎市新栄町13番44号				
設立年月日	昭和54年2月1日	基本財産	2,500千円	市出資率	-
設立目的	社会福祉法第109条において、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として位置づけられており、定款においても、茅ヶ崎市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、社会福祉の推進を図ることを目的としている。				
事業概要	福祉相談、成年後見相談、ボランティアグループ・当事者団体の育成支援、地区社会福祉協議会の育成支援、地区ボランティアセンターの推進、ミニデイサービス・サロン活動の育成支援、ボランティアセンターの運営、福祉教育の推進、障害者生活支援センターの運営、要援護世帯への援助、障害者ホームヘルプ事業、福祉サービス利用援助事業、成年後見制度に関する事業、生活支援体制整備事業、茅ヶ崎市老人福祉センター指定管理事業等				
情報公開	HPアドレス	<a href="http://www.shakyo-chigasaki.or.jp/index.html">http://www.shakyo-chigasaki.or.jp/index.html</a>			
	公開情報	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 評議員・役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画等			

#### (2) 指定管理者として管理する公の施設

(単位：千円)

施設名	指定管理期間	債務負担合計額 (4年間)
① 茅ヶ崎市老人福祉センター	H29. 4. 1～R3. 3. 31 (4年間)	30,726

(3) 人員等の状況

(令和2年3月31日現在)

			平成30年度	令和元年度	増減
役員	常勤	役員数 (人)	1	1	0
		うち市OB (人)	1	1	0
		平均年齢 (歳)	64.2	65.2	1
	非常勤	役員数 (人)	16	16	0
		うち市OB (人)	2	2	0
		平均年齢 (歳)	70.6	68.8	△ 2
合計 (人)			17	17	0
職員	常勤	職員数 (人)	14	17	3
		うち市OB (人)	1	1	0
		平均年齢 (歳)	40.9	42.5	2
	非常勤	職員数 (人)	19	16	△ 3
		うち市OB (人)	1	0	△ 1
		平均年齢 (歳)	59.1	64.4	5
	合計 (人)			33	33

(4) 人件費等の状況 (役員)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	役員のうち常勤役員報酬対象者 (人)	1	1	0
	役員報酬 (千円)	3,521	4,040	519
	役員平均報酬 (千円)	3,521	4,040	519
非常勤	役員のうち非常勤役員報酬対象者 (人)	1	1	0
	役員報酬 (千円)	904	971	67
	役員平均報酬 (千円)	904	971	67

(5) 人件費等の状況 (職員)

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減
常勤	職員給与	87,503	106,692	19,189
	職員平均給与	6,731	6,276	△ 455
非常勤	職員給与	33,552	25,058	△ 8,494
	職員平均給与	1,766	1,566	△ 200

## 2 財務について

### (1) 財務諸表

(単位：千円)

財務諸表	平成30年度	令和元年度	増減
総収入	238,757	242,275	3,518
総支出	242,775	240,072	△ 2,703
当期収支	-4,018	202	4,220
資産合計	465,518	459,049	△ 6,469
負債合計	68,255	60,382	△ 7,873
正味財産合計	397,263	397,667	404
当期正味財産等増減額	-4,018	202	4,220

### (2) 総収入に占める市の財政支出状況等

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	増減
総収入に占める市の財政支出額	内訳			
	補助金	108,646 (45.5%)	113,509 (46.9%)	4,863
	負担金	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0
	委託料	44,026 (18.4%)	49,235 (20.3%)	5,209
	指定管理料	7,521 (3.2%)	6,997 (2.9%)	△ 524
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0
小計		160,193 (67.1%)	169,741 (70.1%)	9,548
その他収入		78,564 (32.9%)	72,534 (29.9%)	△ 6,030
合計(総収入)		238,757 (100.0%)	242,275 (100.0%)	3,518

※金額の括弧書きは総収入に占める割合

### (3) 経営評価指標

(単位：%)

経営評価指標		平成30年度	令和元年度	増減
自立性	補助金依存率	46.6	48.4	1.8
	受託事業収入率	22.1	24.0	1.9
	自主事業費比率	48.3	47.0	△ 1.3
安全性	自己資本比率	85.3	86.6	1.3
	流動比率	280.1	354.0	73.9
効率性	人件費比率	77.3	75.3	△ 2.0
	管理費比率	2.9	3.2	0.3

### 3 主要な事業について

(1) 事業名： ボランティアセンター事業（福祉教育・出前講座）				
事業概要	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	福祉教育・出前講座の依頼団体の新規増	新規依頼2団体増	新規依頼6団体増	新規依頼4団体増
<p>福祉の理解を深めることを目的に学校、地域住民（民児協、自治会など）、企業を対象として、その依頼により、主に福祉分野を対象とした講座や体験学習を当事者団体やボランティアグループなどと連携し、障害がある方（当事者）の体験談や点字、アイマスク誘導、要約筆記、録音、手話、車いす体験などの福祉体験を行なう。</p>				
取組結果	課題・今後の方向性			
<p>外出援助・送迎等のボランティアコーディネートについては、担当職員が使用するマニュアルや説明資料の見直し・微修正などを行った。また、ケース訪問などの際には、可能な限り職員複数体制で丁寧に対応した。</p> <p>ボランティア活動に興味のある市民を対象に活動に参加するきっかけづくり及び地域活動の周知を目的としてボランティア入門講座を開催し、新規のボランティア活動者の発掘を行った。</p> <p>例年実施しているボランティア関連講座として、ボランティア大学（ボランティア連絡会と共催）、夏休み親子手話教室（手話サークルと共催）ユースボランティア茅ヶ崎（ちがさき市民活動サポートセンターと共催）を開催した。</p> <p>また、福祉教育に関わっているボランティア、当事者と学校の教員との相互理解と福祉教育に関する共通理解を図るため、福祉教育研修会を開催した。</p> <p>台風の影響と新型コロナウイルス感染防止のため、予定していたものがキャンセルとなり例年よりも実施件数が減少した。</p>	<p>（課題）</p> <p>小中学校からの依頼が集中する時期があるため、点字、手話、アイマスク誘導體験など依頼の多い団体の負担軽減を考慮し、時期を分散させるような日程調整が必要である。</p> <p>当事者による講話の講師依頼において、団体によっては会員が減少しているため講師派遣が難しい場合がある。</p> <p>（今後の方向性）</p> <p>当事者の講話について、当事者団体の高齢化により講師派遣が難しくなることが想定されるため、団体だけではなく、日頃から市社協と関わりのある方に担ってもらえないか等、人材の発掘を検討する。</p> <p>福祉教育研修会は、取り扱うテーマを参加者ニーズに沿うような形で内容を構成していく。</p>			

(2) 事業名： あんしんセンター事業（日常生活自立支援事業・法人後見）

<p>事業概要</p> <p>判断能力の不十分な方、親族がいない、資力がない等の理由で後見人の候補者が望めない方で、身上監護を中心とした日常生活の支援を必要としている方が自立した生活を送れるように利用者の権利擁護を図る。</p> <p>市民・市民を支援する相談機関や事業者に対し、弁護士による成年後見相談を行い、生活・活動を支援する。</p> <p>判断能力の不十分な高齢者、知的障害者、精神障害者に対し契約に基づく福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理サービス・書類預かりサービスを行う。</p> <p>家庭裁判所からの法人後見受任に向け、弁護士等を構成員とした法人後見審査会を運営するとともに、市民後見人育成の支援を行う。</p>	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	新規契約者の増	契約16名増	契約12名増	4名減
	新規受任件数の増	受任3名（件）増	受任2名（件）増	1名減

<p>取組結果</p> <p>判断能力が不十分な方への支援として関係機関と連携して、日常生活自立支援事業（新規契約12名増）及び法人後見事業（新規受任2件：後見1件・保佐1件）を実施したほか、担い手の育成として市民後見人養成事業を行い第2期として3名が修了認定された。また、第1期修了者の法人後見サポーターについて実務研修を行い、バンク登録審査手続きを経て弁護士等を構成員とした受任調整会議を開催し、2名を候補者として家庭裁判所への推薦を行うこととした。</p> <p>前年度比で、新規契約者及び新規受任者の減となっているが、本人の希望等に基づき、弁護士・医師等を構成員とした日常生活自立支援事業契約締結審査会又は法人後見審査会において丁寧な審議・審査を行った結果である。</p>	<p>課題・今後の方向性</p> <p>（課題） 同居親族等がいる場合の本人と同居親族等との生活費等の調整や、グループホーム等利用者の金銭管理の取扱いの整理が必要である。また、移行ケース以外の受任依頼体制整備の必要がある。 市民後見人の受任体制の整備にむけた養成スケジュールや、中核機関の体制が固まっていない。</p> <p>（今後の方向性） 茅ヶ崎市の相談支援体制を充実させるため、事業を推進する上で、関係機関との役割分担や調整をする。 法人後見に関する業務を推進する上で、事務局内での相談調整体制を構築する。 スムーズな受任体制の整備に向けた家庭裁判所との調整や、中核機関設置に伴う市、市社協及び関係機関の役割分担について確認する。</p>
--	--

(3) 事業名： 地域福祉活動支援事業

事業概要 住民、地区社協、地区ボランティアセンター（以下、「地区VC」）及び地区を支える専門職等を対象とし、行政サービスの対象とならないような地域ニーズに関し、地域住民の主体的な参加と相互支援による身近な場での支えあい（地域福祉活動の基盤整備、人材育成、連携構築）を築くことを目指す。そのため、12地区の地域福祉活動の支援、地区VCの整備推進、地域福祉活動を担う人材育成、地区懇談会の開催支援及びコーディネーター配置事業（以下、「CO.配置事業」という。）を実施する。	活動状況（単位）			
	項目	平成30年度	令和元年度	増減
	地区ボランティアセンター登録者	762名	736名	26名減
	地域福祉の担い手の増	26名増	23名増	3名減
	コーディネーター配置事業実施地区	5地区	6地区	1地区増

取組結果	課題・今後の方向性
<p>地区VCの年間新規登録者は57名であり、各地区でも口コミを主に、広報や研修等で人材確保の努力をされている。中でも、具体的に必要な依頼内容をPRする方法や、老人会・サロン等での呼び掛けを行う地区では新規加入が多い。</p> <p>地域福祉の担い手育成推進委員会による地域福祉活動のリーダー層養成は、途中で受講できなくなる方が出る等人数は減ったが、修了者からは新たな情報が得られ、つながりができることも好評価である。</p> <p>CO.配置事業実施地区は目標に至らなかったが、今年度は取り組みを目指す地区が複数出た。拠点の移転など課題もあり時期が伸びた地区もあったが、地区担当職員が地区の状況に添いながら働きかけをした結果と思われる。</p>	<p>（課題） 地区ボランティア登録者については、各地区の努力により新規登録は増えるものの、高齢化、家庭の事情他により活動を退く人数が上回る状況が継続している。市域での呼び掛けも、地区によっては遠くで集まりにくい等の声も聞かれる。</p> <p>2月で終了した地域福祉の担い手育成推進委員会の受講者については、今後の活用方法を地区とともに検討していく必要がある。</p> <p>CO.事業実施に際し、地区の負担感軽減を図ると同時に、つながりのメリットを伝える必要がある。</p> <p>（今後の方向性） 地区ボランティア登録者については、地区VCの周知と活動支援を継続するとともに、新たな活動者獲得に向け地区や近隣地区等での募集・呼び掛けへの取り組み方等について、市とも連携し地区をサポートしていく。</p> <p>地域福祉の担い手育成推進委員会については、タイムリーな視点を取り入れながらも基本を押さえ、相互の情報交換や知る楽しさを感じられる工夫も取り入れ、リーダー育成を図る。</p> <p>CO.配置事業について、現在、実施に向けて動いている地区の支援を市や福祉相談室等と協力して進める。また、次年度は計画最終年度となるため、未実施の地区についても現状の活動状況を活かして取り組みを進められるよう働きかける。</p>

#### 4 総合評価

(1) 財務について	
評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>経営評価について、補助金依存率については48.4%と前年度比1.8%増加した。</p> <p>受託事業収入率は24.0%と前年度比1.9%増となり、評価できる。</p> <p>自主事業比率は47.0%と前年度比1.3%減となった。</p> <p>自己資本比率は86.6%と前年度比1.3%増加しており、引き続き50%以上であり評価できる。</p> <p>加えて、流動比率は354.0%と前年度比73.9%増加し、引き続き200%以上であるので評価できる。経営評価指標として求められる数値（自己資本比率50%以上、流動費比率200%以上）を上回った。</p> <p>一方、人件費率は75.3%と前年度比2.0%減少し、評価できる。</p> <p>管理費比率は3.2%と前年度比0.3%微増した。</p>	<p>自立性については、補助金依存率が前年度比増となっており、受託事業収入率は増加しているものの、自主事業比率は前年度比減となっている。</p> <p>安全性については、自己資本比率、流動比率ともに、経営評価指標として求められる数値は上回っている。</p> <p>効率性については、管理費比率が前年度比で微増しているが、人件費率は前年度比減となっている。</p> <p>職員の定期昇給により、毎年度対象経費が増加していく中で、人件費率が減少したことは評価できるため、補助金依存率の改善に向けても、現在の収益構造を踏まえた中で、工夫を行っていく必要がある。</p> <p>また、総支出が総収入を上回る状況が2か年連続した状況が改善されたので、今後も継続していく必要がある。</p>

## (2) 事業について

評価（団体記載欄）	所管課コメント
<p>日ごろの広報活動の効果もあり、市内の遊技場を経営する法人より福祉巡回用軽自動車の贈与を受けることができ、経年劣化の車両との入替を図ることができた。加えて、大学OB会から車いす2台の贈与を受け、法制度外の車いす貸出し事業に活用することができた。</p> <p>市社協の「茅ヶ崎市地域福祉活動計画」と市の「茅ヶ崎市地域福祉計画」を一体化した「みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン」の改定作業が開始され、市社協委員会及び市委員会の合同開催等を経る中で、順調に改定作業を行った。</p> <p>各事業については、第3・四半期まではほぼ順調に実施できたが、第4・四半期に入り新型コロナウイルスの全国的な感染拡大や、茅ヶ崎市の「新型コロナウイルス市内感染のまん延防止に係る取り組み方針」等により、人と人とのつながりによる地域福祉推進のための諸事業は大きく抑制せざるを得なくなった。</p> <p>今後は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、国が提唱する「-新しい生活様式-」を踏まえた地域福祉活動について取り組みの再検討を行い、引き続き高齢化・核家族化の進行等に伴う重層的・複合的課題を抱えた地域を支援していく必要がある。また、上記計画の改定作業も地域福祉関係者の意見等を丁寧にくみ取り、策定に向け取り組みを進める必要がある。</p>	<p>市と一体となって策定した「ちがさきの地域福祉プラン」を推進する一翼として、計画期間の5年目に入り、計画に位置づけられた市社会福祉協議会として期待される役割に基づき、地域福祉の推進に向けて着実に取り組んでいる。</p> <p>高齢化の進展や社会が複雑多様化する中で、重層的・複合的な課題や制度のはざまの問題が顕在化している状況にあっては、地域住民同士のつながりや支え合い、助け合いの仕組みなどの様々な取り組みの重要性が増しており、これらの取り組みを進める社会福祉協議会に求められる役割は、今後も増大することが見込まれる。そのため、進むべき方向性や課題の解決に向けて、本市の地域特性に応じた効果的な取り組みを推進し、更なる地域福祉の発展と担い手の育成に寄与する事業展開に期待する。</p>

## (3) 市総評

経営評価指標について、補助金依存率が更に高まっている。市としても、令和2年3月に策定した「茅ヶ崎市財政健全化緊急対策」において補助金の見直しに向けた取り組みを進める中、これまでと同様に補助金を出し続けることはできず、これまで同様の財政支援に依存した法人運営を継続することは困難であることを強く意識し、自主財源の確保を早急に進めていただきたい。

社会福祉協議会は利益を追求することが目的の団体ではないが、継続的に法人の目的・責務を果たし続けるためにも、自主財源の確保に向け、社会情勢の変化に応じ、市民ニーズを捉えた事業展開を積極的に行う必要がある。全ての住民が支え合いながら自分らしく生きることができる「地域共生社会」の実現に向けた取組や、成年後見制度利用促進を始めとした権利擁護に関する取組を通じて、引き続き同協議会の存在感を存分に発揮するとともに、自主財源での運営体制を構築し、本市の地域福祉の最前線において、市とともにその推進に取り組んでいくことを期待する。

外郭団体経営報告書（令和2年度版）

令和3年3月発行 100部作成

発行 茅ヶ崎市

編集 企画部行政改革推進室

〒253-8686

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電話 0467-82-1111（代表）

FAX 0467-87-8118

ホームページ <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

メールアドレス [gyouseikaikaku@city.chigasaki.kanagawa.jp](mailto:gyouseikaikaku@city.chigasaki.kanagawa.jp)

